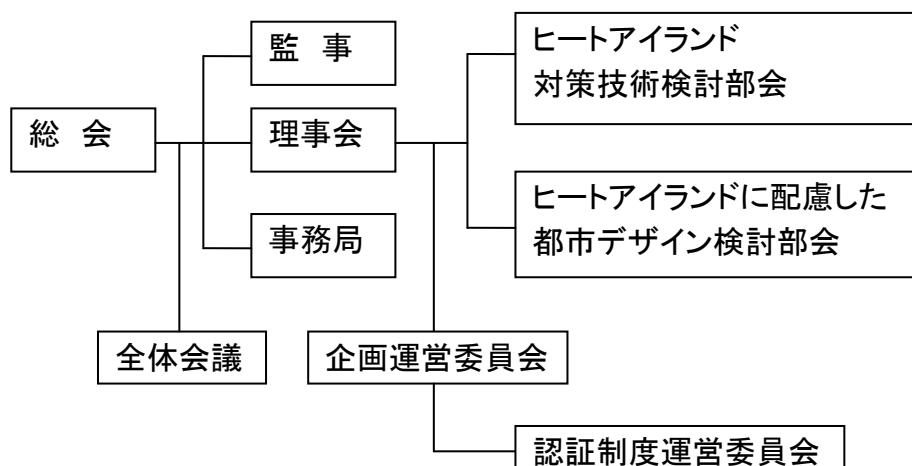


平成24年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成25年4月1日時点)

理事長 水野 稔(大阪大学名誉教授)
副理事長 野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)
理事 森山 正和(摂南大学教授)
池上 俊郎(NPO 法人エコデザインネットワーク理事長、
京都市立芸術大学教授)
井上 祐一(関西電力株式会社 環境室長)
加賀城俊正(大阪ガス株式会社 前CSR・環境部長)
監事 西山 潤二(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)
高野 修一(大阪市環境局環境施策部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成24年5月17日)、理事会(同6月1日)、総会(同6月1日)を開催し、理事会及び総会では、平成23年度事業報告、同収支決算、平成24年度事業計画・予算計画、理事の再任及び認証制度運営委員会における認証制度検討状況について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成25年1月15日)を開催し、検討部会の進捗状況及び認証制度の審査委員会の開催について議論した。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナー等を開催した。

○ヒートアイランド対策技術公開セミナー(平成24年6月1日)

<内容>

都市・建物外装材の熱容量削減・外断熱化によるUHI緩和効果

芝池 英樹(京都工芸繊維大学大学院准教授、大阪HITEC幹事)

街路形態の特徴に応じた適材適所のヒートアイランド対策技術の選定方法について

竹林 英樹(神戸大学大学院准教授、大阪HITEC幹事)

<参加者>

名32名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

保水性舗装及び外断熱の評価基準等について、WG及び2つのサブWG(保水性舗装、外断熱)において検討し、その素案について意見交換を行った。また、高反射塗料の経時変化の評価と今後の可能性について意見交換を行った。

○第26回会合:平成24年5月11日

<内容>

① 保水性舗装SWGの検討状況と今年度の展望

② 外断熱SWGの検討状況と今年度の展望

③ 高反射率塗料塗布面における反射率の経年変化調査の報告

④ 平成24年度素材関連WG事業計画(案)について

○第27回会合:平成24年12月17日

クールスポット創造技術手法WGとの合同開催

<内容>

① 保水性舗装SWGの検討状況について

② 汚染物質解析方法の中間報告

③ 外断熱認証基準と加硫ゴムシート防水の外断熱の有無による熱性状観測結果

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

人口排熱削減対策における大気熱負荷削減効果の認証方法の調査及び検討を行った。また、熱有効活用・人口排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報を行った。

○第 21 回会合：平成 24 年 7 月 24 日

<内容>

- ① 大阪 HITEC『ヒートアイランド対策技術認証制度』について
- ② 紹介「河川水を利用した排熱処理について」
- ③ 認証制度策定に向けた、内容と方法について

○第 22 回会合：平成 24 年 10 月 11 日

<内容>

- ① 紹介「空調システムにおける人工排熱低減の認証制度策定に向けた検討について」
- ② 認証制度に向けた内容と方法について

○第 23 回会合：平成 24 年 12 月 11 日

<内容>

- ① 認証制度に向けた内容と方法について

○第 24 回会合：平成 25 年 3 月 26 日

<内容>

- ① 企画運営委員会（平成 25 年 1 月 15 日実施）について（報告）
- ② 大阪府「ヒートアイランド対策熱負荷計算モデル[環境省委託事業]」について
- ③ 空調システムからの排熱低減量の評価法について
- ④ 「ヒーポンらぼ」で実施している空調室外機への水噴霧試験について
- ⑤ 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術を検討した。

○第 15 回会合：平成 24 年 12 月 17 日

素材関連WGとの合同開催

<内容>

- ① 簡易蒸発散測定装置について
- ② 今後の予定

【熱負荷評価手法WG】

本WGで開発した大気熱負荷削減量や表面温度低下を評価するシミュレーションモデルを活用し、認証申請のあった技術の定量的評価を実施し、申請者に情報提供した。

【都市デザインWG】

府民が感じるクールスポットの実態把握を行ない、119 箇所をクールスポット 100 選として選定し、ホームページに公開した。また、第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペの開催に向けての活動を行った。

○第 12 回会合：平成 24 年 5 月 28 日

<内容>

- ① 「第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の平成25年度開催に向けての活動について
- ② セミナー等の開催について
- ③ ワークショップで扱う検討課題
- ④ 府民が感じるクールスポットの実態把握の検討

○第13回会合：平成24年6月22日

<内容>

- ① “大阪府クールスポット100選”ホームページの内容について
- ② ホームページを活用したアンケート調査に関すること

○第14回会合：平成24年7月18日

<内容>

- ① “大阪府クールスポット100選”選定作業

○第15回会合：平成24年9月19日

<内容>

- ① “大阪府クールスポット100選”選定作業

○第16回会合：平成24年12月16日

<内容>

- ① 「第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の平成25年度開催に向けての検討

○第17回会合(コンペ検討委員会)：平成25年3月4日

<内容>

- ① 「第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の平成25年度開催に向けての検討

(4) 認証制度運営委員会

認証制度運営委員会にて技術評価実施要領の改正を実施した。また、認証制度審査委員会を開催し、7件のヒートアイランド技術を認証した。

○第7回会合：平成24年4月4日

<内容>

- ① 認証制度申込み状況について
- ② 技術評価実施要領の改正(案)について
- ③ ロゴマーク使用要領(案)について

○第1回審査委員会：平成24年5月17日

<内容>

- ① 3社、7件の審査を実施。認証した。

○第2回審査委員会：平成25年3月25日

<内容>

- ① 4社、4件の審査を実施。

(5) 部会活動等の周知

【常設展示ブースの出展及び法人会員シーズ紹介】

循環型社会づくりをめざす最新の環境ビジネスを広く紹介する「おおさかATCグリーンエコプラザ」内のエコプロダクツゾーンに常設展示ブースを出展し、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行うとともに、月毎に法人会員のシーズ紹介（PRパネルの展示、製品のディスプレイ及びパンフレットの配布）を行った。

▽シーズ紹介法人会員

2012年5月	(株)神清
6月	太平洋プレコン工業(株)
7月	太平洋プレコン工業(株)
8月	(社)日本塗料工業会スズカファイン(株)
9月	(社)日本塗料工業会サンユーペイント(株)
10月	(株)エスシーエイエヌ
11月	(株)エスシーエイエヌ
12月	大日化成(株)
2013年1月	大日化成(株)
2月	日鉄住金鋼板(株)
3月	大日本塗料(株)
4月	安治川鉄鋼(株)
5月	安治川鉄鋼(株)
6月	(株)大高商会

▽おおさかATCグリーンエコプラザの入場者等の状況

2012年5月の入場者人数	19,609人	、	団体見学数	32	団体
6月の入場者人数	12,090人	、	団体見学数	36	団体
7月の入場者人数	12,786人	、	団体見学数	30	団体
8月の入場者人数	30,419人	、	団体見学数	56	団体
9月の入場者人数	15,105人	、	団体見学数	40	団体
10月の入場者人数	14,703人	、	団体見学数	40	団体
11月の入場者人数	16,454人	、	団体見学数	51	団体
12月の入場者人数	16,827人	、	団体見学数	44	団体
2013年1月の入場者人数	12,815人	、	団体見学数	26	団体
2月の入場者人数	14,978人	、	団体見学数	27	団体
3月の入場者人数	24,787人	、	団体見学数	35	団体
4月の入場者人数	14,883人	、	団体見学数	27	団体

【大阪 HITEC NEWS の発行】

認証状況やクールスポット100選の募集、検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪 HITEC NEWS Vol. 8』を平成24年12月20日に発行した。

【エコデザインフェアへの出展及び法人シーズ紹介】

おおさかATCグリーンエコプラザ主催の「エコデザインフェア」へ、大阪 HITEC のPRパネルを展示するとともに、パンフレット及びヒートアイランド対策技術認証制度申し込み案内を配布した。

あわせて、6法人会員によるシーズ紹介（平成25年1月31日～2月2日開催、

来場者数:702 人)を行った。

(6)ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、ホームページを拡充・更新した。

(7)大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。